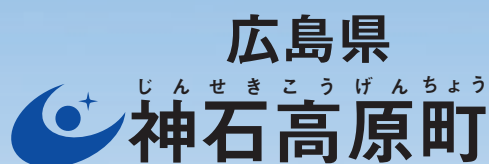


みんなの 町議会

第27号

平成23年7月15日



元気はつらつよさこいソーラン！（神石小学校運動会）

- 「源流の里」の買い物支援に（6月補正予算） 2
- 肺炎球菌ワクチン接種無料化（補正予算質疑）..... 4
- 豊松地区の医療確保を（一般質問） 6
- がんばれ！消防団油木方面隊（特集記事）..... 13
- ありゃあどうなった？（小学校耐震化工事） 14
- リサイクル・クレージーフラザース（元気なグループ紹介）… 16

連携で源流の里対策を

官民連携限界集落総合的解決モデル事業に 1,005万円

平成23年度第1回定例会は、6月15日から22日まで開かれました。

平成23年度各会計補正予算（6月補正）、神石高原町暴力団排除条例の制定など15議案と神石高原町議会議員の議員報酬に関する条例の一部改正など議員発議5件の20案件を審議し、議員

提案の議員定数条例一部改正案を否決し、19議案を原案のとおり可決しました。また第3セクターの経営状況など8件の報告がありました。

一般質問では、10名の議員が当面する行政課題をただしました。

源流の里へ買い物支援 移動販売車を購入

本町は、総務省の平成23年度過疎地域等自立活性化

推進交付金事業として、「源流の里」への買い物支援のモデル事業を提案、認可されました。

移動販売車を購入し無償で貸与します。

大手コンビニ、郵便事業者、地元商店、自治振興会などが連携し指定された地域へ望まれる商品を配送します。

システム作りや移動販売車購入に1005万円を計上しました。



ドックランオープン記念式典

屋外放送用スピーカーを設置

緊急時に情報提供するため、停電時でも放送可能な屋外放送用拡声器を町内34か所に設置します。

前年度繰越残高は 6億1266万円

平成22年度繰越残高は、一般会計で4億9641万円、特別会計では1億1626万円となりました。

かがやきネット運営基金に 1億847万円を積立

かがやきネットに関する収支は安定した経営を図るためと、資金の流れが分かるよう事業費の明確化を図る目的でかがやきネット管理運営基金に全てを計上されます。

この度、平成23年度加入分担金4ヶ月分収入額

874万円と今後の機器更新・整備に備えて財源配分1億円が積立てられました。これにより、今後のかがやきネットに関する住民負担分が軽減されることとなります。

平成23年度 6月補正予算

一般会計

2億3,787万円

官・民

平成23年6月補正（一般会計）

単位：万円（万円以下四捨五入）

費目	補正予算	主な内容
議会費	2,769	議員人件費（議員年金廃止に伴うもの）
総務費	7,090	かがやきネット管理1,900、屋外スピーカ8,085、限界集落総合的解決モデル1,005
民生費	△325	保育所施設管理経費120
衛生費	939	予防接種853、飲料水確保対策400
農林水産費	△3,034	ひろしまの森966、有害鳥獣駆除292、和牛の里▲453、小規模農業基盤整備876
商工費	1,147	観光事業153、中山間地域観光メニュー強化100
土木費	△129	公営住宅管理経費70
消防費	70	山崩れ発生予知施設管理経費70
教育費	289	三和小学校電気料510、豊松小学校耐震調査170、神石中学校耐震調査50
災害復旧費	2,312	農地・農業用施設災害補助復旧事業629、道路橋梁災害復旧事業1,683
公債費	1,810	長期債元金繰上償還（CATV）1,810
諸支出金	1億888	ふるさとふれあい事業基金積立41、かがやきネット管理運営基金積立10,847
合計	2億3,787	

平成22年度 第3セクター販売高

単位：万円（万円以下四捨五入）

会社名	売上	当期損益	補助・委託
(株)神石高原農業公社	7,462	124	693
(株)帝釈峡スコラ	9,440	△853	1,172
(有)直売公社 まるごと市場	2億4,949	25	別枠600
(有)油木特産販売 百彩館	8,876	△55	18
(有)さんわ182ステーション	3億2,071	178	209

第3セクター経営状況

○油木百彩館売上3.7%減
春先の低温による成育の遅れと夏の猛暑で野菜や果物などの出荷量の減。

○まるごと市場
（売上1.8%減）
経費の節減で利益。なお一層の合理化が必要。

○182ステーション
（売上0.9%増）
順調な経営状況である。

○農業公社（売上9.2%増）
町道維持管理部門の増により売上増。

○帝釈峡スコラ
（売上4.4%減）
平成18年度の事故補償金の増により853万円の損失。

平成23年6月 補正額

単位：万円（万円以下四捨五入）

会計名	H23年度	
	6月補正	合計
一般会計	2億3,787	101億9,787
特別会計	国民健康保険	956 11億8,336
	後期高齢者医療	1,805 3億9,255
	介護保険	3,166 18億6,276
	簡易水道事業	1,415 4億9,515
	飲料水供給施設事業	- 3,770
	農業集落排水事業	8 2億4,348
	分収育林事業	- 250
	総合開発事業	- 1億2,000
特別会計計	7,350	43億3,750
病院事業会計	-	1億7,800
合計	3億1,137	147億1,337

補正予算質疑

まちづくり推進課

移動販売車購入で

「源流の里」買い物物支援

松本議員 買い物支援対策を、1人暮らし世帯、高齢者で保健福祉の対象とならない世帯に限定する理由は。

埜本課長 高齢者世帯の見守りも兼ねて実施。保健・福祉関係で訪問の世帯は除く。

松本議員 買い物に困っておられるのは、そういう人ではないのか。1人暮らしに限定せず、2人暮らしの人も対象にすべきでは。

埜本課長 総務省のモデル事業で、採択されたばかりなので今後、官・民連携を図りながら具体策を協議する。

藤田議員 官・民連携

携帯界集落総合的解決モデル事業を充実すればするほど、地元商店は衰退する。地元業者への説明は。

埜本課長 6月1日に内示がでたばかりで詳細については今後検討する。

寄定議員 災害時緊急

急情報伝達の屋外放送拡声装置設置計画の詳細は。

埜本課長 町内に屋外拡声器を設置し災害時の緊急情報伝達をするものだ。各家庭にある告知端末は停電時には使用できないが、屋外拡声装置は停電時でも放送が可能。通常の放送と緊急放送、Jアラートと連動した放送を考えている。

防災無線の屋外拡声器、油木地区8基・神石地区10基の既存の設備を最大限利用し、さらに油木地区2基、豊松地区5基、

三和地区9基を新規に設置する。

橋本議員 地産地消

システム改修の内容は。

埜本課長 まるごと市場・百彩館・182ステーションで行っているシステムをかきネット11chの産業情報で品目ごとにリアルタイムで情報提供する。

橋本議員 備品購入

費1100万円と補助金約650万円計上してあるが、内容は。

埜本課長 予備品として告知端末機50台、ONU30台などである。

4月1日開局予定であったが、宅内配線工事が間にあわず4月分の基本料金を加入者件数を乗じた金額をケーブルジョイへ補助する。

寄定議員 「中山間

地域観光メニュー強化事業」の具体的取り組みは。

埜本課長 「庄原市・神石高原町観光プロジェクト推進実行委員会」を設立。帝釈峡観光振興のた

め、庄原市と神石高原町の観光協会、地域、事業主などでプロジェクトを立ち上げ、ソフト事業を提案し実施する。

保健課

無料接種！高齢者肺炎

球菌予防ワクチン

寄定議員 高齢者肺炎球菌予防ワクチンの町内医療機関での接種体制は整っているのか。

吉津課長 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種は65歳以上の人を対象に助成する。町内医療機関で実施するが混乱を防ぐため主治医と相談の上で申し込んで頂きたい。

寄定議員 大腸がん

検診無料クーポンによる受診率向上への目標は。

吉津課長 早期発見・早期治療のため、50%を目標にしたい。

産業課

具体的に取組む

イノシシ・サル対策

寄定議員 「鳥獣被害防止総合対策交付金事業」の具体的な取組みは。

守多課長 イノシシ対策として箱ワナ20〜30基購入し、猟友会で広範囲に捕獲を実施する。サル対策として①電流ネット設置。(モデル地区選定)②モンキードッ

クリック!

Jアラートとは
国が発信する緊急情報を受信し、防災行政無線を使用して町民にお知らせするシステム。



油木高校文化祭ナマス天井販売

教育課

グの先進地視察(山口県仁保地区)を実施する。

藤田議員 三和小学

校電気料の補正額増の理由は。また、中学校の太陽光発電の売電料は。

川上課長 業務用電力基本料が決定したため。売電料は4月分1920kWで4万6080円、5月分2240kWで5万3760円である。

こんなことが決まりました

財産の取得

全会一致

小型消防ポンプ積載車購入
有木・小畠・木津和地区へ配備

取得金額 2,259万6,000円(3台の合計金額)
相手方 神石高原町近田1382番地10
(有)神石ミニカー商会
代表取締役 堀 達也



配備される小型消防ポンプ積載車(同型)

条例改正

町長などの給与を減額

全会一致

町長・副町長・教育長の給与を次の通り減額。
月額給与
*町長 74万2,000円→69万7,000円
*副町長 65万1,000円→61万1,000円
*教育長 60万6,000円→56万9,000円
施行日 平成23年7月1日

国民保険課税額の変更

全会一致

・国民保険基礎課税額50万円→51万円
・後期高齢者支援金等課税額13万円→14万円
・介護給付金課税額10万円→12万円

議会委任による専決事項の指定

全会一致

*町長が専決処分できる事項
①法令の改廃などで町単独の判断を伴わないもの
②損害賠償額が50万円以下の和解に関するもの
③自動車事故損害賠償額が50万円以下のもの
④議会の議決を受けた工事・製造の請負金額の10分の1を越えない変更契約
⑤一部事務組合や広域連合の数の増減及び規約の協議に関するもの

神石高原町議会議員の
月額議員報酬の減額

全会一致

◎議会議員の月額報酬から次の通り減額。
*議長 1万5,000円
*議長以外の議員 1万円
施行日 平成23年7月1日
(関連記事は12ページ)

賛成3・反対10で否決

神石高原町議会議員の議員定数を削減

○町議会議員の定数14人を12人に削減。
(関連記事は12・13ページ)

条例制定

暴力団排除条例を制定

全会一致

暴力団の排除を推進し、町民の安全で平穏な生活を確保し、社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的。

かがやきネットの整備に伴う
関係条例の整備

全会一致

かがやきネットの運用開始に伴い、有線放送電話運営条例の廃止・防災行政無線局条例の字句の改正などの条例改正。

工事請負契約の締結

町道仁後線改良工事の請負

全会一致

工事場所 神石高原町古川 地内
請負金額 6,158万2,500円
請負者 株式会社 後藤組
代表取締役 志垣謙二
工期 平成23年6月16日～平成24年1月31日



改良工事区間

あなたの声を町政に

一般質問時間は、一人30分
一問一答方式で行いました

問 豊松地区に常設診療所設置を



橋本輝久議員

答 現状では極めて困難だ

Q 昨年12月から、2回にわたる一般質問で豊松地区に診療所を設け、受診できるようにとの要望に対して、「きわめて困難であり、医師の確保が最優先だ。」「非常に困難な事案であるが鋭意努力している。」「私の政治生命をかけ最善の努力をする。」との答弁であった。「鋭意努力」の経過と現在の状況は。

A 町長 少ないスタッフで町立病院の運営にあたっての現状であり、そのなかでの苦渋の発言だった。

Q 豊松地区への設置をお願いする署名活動を行ない、15日に陳情された。常設診療機関の設置を求める署名活動を行った住民の思いを、どう捉えているのか。

A 町長 その行為とお気持ち

は、重く受けとめている。しかし、現状を考えると、常設の診療所は極めてむずかしい。また常設ではなく、もう少しちがった診療所であるならば、町立病院・陽正会などの協議の場を設けて検討しても良いと思っ

町立病院では5名の常勤医師体制だが現在4名で診療にあたり、各医療機関から、臨時的に応援をいただき対応している。

一ヶ月の医師総数が約40名の勤務表になっているのが現状である。

Q 神石高原町学校配置検討委員会が設置され、子どもたちの教育環境整備、将来の教育ビジョンなどについて、議論が展開中である。答申を受け、その後の展開はどうなるのか。

A 教育長 学校配置検討委員会の答申が8月末にあり、これを尊重し、教育委員

会で検討し方向性を決定する。その後、各地区での説明会を行う。

Q 同時進行で、それぞれの地区で、保小中のPTAや地域の各団体などで、配置の問題についていろんな意見を聞くためにも、議論の場を設けては。

A 教育長 今後、議論の場を設け、実施したい。

問 産直市場に常勤社長を



小川清治議員

答 カリスマ的常勤社長を公募採用したい

Q 産直市場3店舗の総売上は6億5900万円と大きく、農業者・産品生産者の生活支援、農地荒廃防止、生きがいや健康づくりに役だっている。

道の駅も町の玄関口であり、地域コミュニティの拠点として改装されている。3店舗の社長は町長、副町長であり、多忙な公務を抱え社長と

して先頭に立って経営刷新や課題の解決にあたる状況にはない。

この際3店舗を統合し、地域の拠点として、維持拡大を図る体制が必要と思うが。

A 町長 ひとつには、経費削減のため町長、副町長が社長をしてきた。まだ内部調整はしていないが、カリスマ的な社

長を公募し採用したい。3施設の出荷者協議会も含めた統合をし、将来に向けて維持拡大できる体制づくりを図る。

Q 神石高原町には、すばらしい食材がたくさんある。これを使い各種団体と官・民連携でブランド商品の開発と支援で地産地消を推進すべきでは。

A 町長 地域の食材を使ったブランド商品の開発を、商工会や生活研究グループなど各種団体が連携して行っている。町として支援をしていきたい。

||その他の質問||
水エネルギー資源の方向は。



油木百彩館

問 なぜ委託したのかトマトソース

村上克朗議員



答 トマト工房にはノウハウや設備がない

Q 町最大の振興作物である「神石高原トマト」の現状と食品関係業者に委託した理由は、
A 町長 トマト工房のおいしいソースは、現在メーカーに製造委託している。トマト工房は地域雇用拡大の場で、製造メーカーのようなノウハウや設備・製造能力がない。

Q 農林水産業チャレンジプラン、売れる物を作る生産体制の確立は、
A 産業課長 消費者の希望を調査した物をピューレに加工しソースメーカーで委託加工している。ピューレのままでは購入者がいない。また、その他の商品に加工するための設備もないので外注した。

Q 油木百彩館の店長とまるごと市場の店長交代は転勤が異動か。
A 町長 どちらでもない、退職してから再雇用した。

Q 人事交代により売上が減少していないか、出荷の現状は。
A 産業課長 まるごと市場の店外販売のうち、赤字の売場は閉店する。



トマト工房 トマトピューレ加工室

問 我が町の防災対策は万全か

寄定秀幸議員



答 「地域防災計画」を大幅に見直す

Q 町民の生命・財産・くらしの安全と産業活動の安全・安心を確保するため、「地域防災計画」を見直すべきでは。
A 町長 過去の主な災害、豪雨・洪水などをもとに、風水害や土砂災害を想定。県とも連携し「地域防災計画」を大幅に見直す必要がある。

Q 昨年7月発生の近田地域の地滑り災害に対しては、被災者への生活支援が第一である。
A 町長 個人の救済と言うことで厳しいものがあるが、そこを越えて、救済していくんだとの意識のもとで検討し、出来るだけの対応をしていきたい。

Q 県の「瀬戸内海の道構想」と連動し
A 町長 シートをかけたままの倒壊した家を目の前に、大事な物を取り出すことさえ出来ずに一年が経過しようとしている。被災者の生活再建・復興支援を全力ですべきだ。



地すべり災害現場復旧状況

た、「中山間地域観光メニユー強化事業」への具体的な取り組みは。

Q 不育症とは、妊娠はするが出産にいたらない病気である。適正な検査と治療によって85%の患者が出産にたどり着くといわれているが、検査
A 町長 湯崎知事の「瀬戸内海の道構想」を中山間地域にも拡大する取り組みである。ソフト事業として庄原市と神石高原町が連携して取り組む。帝釈峡遊歩道の復旧整備を求める要望活動が功を奏したと思う。

Q 不妊治療は保険適用外で高額なため、出産をあきらめるケースがある。経済的負担軽減と少子化対策として公費助成制度を創設すべきでは。
A 町長 治療に関わる国の動向を注視し対応を検討したい。

問 油木高校ナマズ養殖に支援を

瀬尾征爾議員



答 未来創造支援事業でバックアップ

Q 本町の産業にとって漁業は門外漢と思われるが、これに目を付けたのが油木高校産業ビジネス科の「ナマズの養殖」だ。
この取り組みは単に商品化をめざすのみならず、町内に広がる耕作放棄地の活用も視野に入れたプロジェクト事業で、行政が発想しえない先取りの取り組みといえる。行政・高校・自治振興会が連携し、このプロジェクトを成就すること

A 町長 この事業は地域農業の手助けをしたいとの崇高な理念でやっている。我々としても受けて、なんとかしてもこの事業を成功させたい。ちょうど、県の「未来創造支援事業」がある。この計画書を提出しているが、内容は油木高校のナマズやみつばちの養

Q 荒廃田の環境整備にも繋がるので一石二鳥ともなり、行政としても取り組み、支援していきたい。防災手法として雨量計があり、そのデータの住民への情報提供が全

A 町長 稼働する中、注意報や警報が発令されたときぐらいはその情報提供をすべきではないのか。
防災上、気象情報の提供は必要である。画面提供は技術的に難しい面もあるがネットとの連動はしていきたい。当面は放送によって皆さんへの周知をしていく。



ナマズ稚魚放流（油木高校）

問 東日本大震災の影響は

藤田晃己議員



答 緊縮予算とならざるを得ない

Q 東日本大震災による普通交付税、特別交付税の影響は。
A 町長 今の状況では、普通交付税にまでは考えられないが、特別交付税については7割程度になることが内示されている。国家財政は破綻状況にあり、我が町は交付税の依存度が高く危機感を持っていて。これからは積極的予算から緊縮予算にならざるを得ない。

Q 義務的経費削減にまで決断すべきでは。
A 町長 地方は今日まで色々な面で切りつめてきたが国の方も少し危機的状況を認識して欲しいと思っている。
Q 耐震診断工事において、基準の変更はあるのか。
A 教育長 今回のところは聞いていない。
Q 東京電力福島第一原子力発電所の停止な

A 町長 国にはそういう動きがあるようだが、今、具体的な話しはない。そうしたことがあれば手を挙げていきたい。
どにより、自然エネルギーへの比重が高まると思うが、太陽光発電の基地として応募してはどうか。



井関定住団地 太陽光発電施設

問 ローソン出店の経緯と進捗状況は

片山元八郎議員



答 8月12日開店をめざし改修工事中

A 町長
昨年10月、ローソン

Q 誘致経緯の詳細説明を。

県内でコンビニがないのは、我が町くらいだ。都市型でなく、中山間地にマッチした(買い物支援)こまめなサービス提供をめざす。

A 町長
以前から、若者中心にコンビニ設置の要望があった。

Q ローソン誘致の目的は。

A 町長
今年3月、商工会などへ説明したが、説明の時期が遅れ、一部住民に不安を与えたことについてお詫びする。

Q 批判的な声もあるが。

社長と副町長が面会、「中山間地域の出店」と「源流の里対策の取り組み」について提案したところ、お互いに有益であると意見の一致を見た。



ローソン開店に向け改装中の182ステーション

A 町長
経営母体は、(有)さんわ182ステーションであ

この改修工事は、ローソン部分、トイレ、共有部分、食堂、土産物売り場、産直施設などが主な改修施設である。

Q 今後の予定は。

A 町長
本年1月臨時会で「きめ細かな交付金」7920万円を可決いただいたているが、ローソン改修は、3000万円までと釘を刺している。

り、既にローソンとフランチャイズ契約を結んでいる。
8月12日開店予定で営業時間は、朝7時から夜9時まで。

問 現政権下での本町の対応は

小林 貢議員



答 財政自粛が必要

Q 東日本大震災による損害額は16兆4000

端的に言えば党利党略。高らかに、明治維新に匹敵する公約をして、検証するでもなく、迷走・混迷を極めており、国民の期待を大きく裏切っているといわざるを得ない。町長として憂慮している。

A 町長
まさにその通り。

Q 現政権で、国民は政争の具にされていないか。また、国政への思いは。

Q 震災前から財政破綻状況であった。

影響は大いにある。震災前に、既に、公債(借金)残高が1000兆円に迫っている状態で、国民1人当たり700万円を超えている。我が町の1人当たりは132万円、国の方が相当多い。震災前から財政破綻状況であった。

A 町長
影響は大いにある。

億円。復興に20〜30兆円さらなる経費を要するとも報じられている。現政権下での本町財政への影響はどうか。

一番危機感を持つているのは、自民党政権末期から民主党政権になって経済対策等々で非常に大きな金がばらまかれた。我が町で展開中の主な事業は、その恩恵を受けられたが、今後はそうはいかない。大きな事業は出来ない。

議員の皆さんも予算要求を控えていただきたい。今後は、福祉向上へシフトを変えていきたい。



新しいプールで歓声をあげる子供達 (三和小学校)

問 神石小学校の今後のビジョンは

横尾正文議員



答 6月の学校配置検討委員会で検討

A 教育長
神石小学校は耐震補強が難しい。4月に立ち上げた学校配置検討委員会による6月の協議で論議していただく。
また、6月補正にプラン策定の費用を計上して

Q
神石小学校は、耐震補強工事しても強度を満たさないと聞くと今後のビジョンは、神石中学校への移転には物理的に無理がある。早期の建て替えは出来ないか。
A
神石小学校は、耐震補強工事しても強度を満たさないと聞くと今後のビジョンは、神石中学校への移転には物理的に無理がある。早期の建て替えは出来ないか。

A 産業課長
「保険積立金」の中身は、平成17年に民間保険会社と契約したもので、2名の職員を対象に退職金積立を見据えた一般の保険積立である。

Q
「神石高原直売公社」の決算報告書の中の「保険積立金」の内容は、また「買掛金内訳書」の内容は。
A
「保険積立金」の中身は、平成17年に民間保険会社と契約したもので、2名の職員を対象に退職金積立を見据えた一般の保険積立である。

A 町長
これらは役員会や総会で承認されているので議員の立場で介入すべきでない。

Q
積み立て保険の中途解約によって100万円以上の損害が出ているがどうするのか。
また、代表者印が店にあったと聞くと、管理はどうなっているのか。
A
買掛金の内訳は、町外の業者から仕入れた物で、全て買い取りである。



神石小学校運動会

A 産業課長
印鑑の管理方法においても検討の余地がある。今後は社長である町長の決裁を月に一回はとりたい。
Q
買い取りの手数料が25%と聞くと、一般的な契約では40%ぐらいなのは、
A 産業課長
責任者の判断でこの手数料が決まっている。手数料をアップするよう指導する。

問 中学校の統廃合は

松本彰夫議員



答 今年度中に結論を出す

A 教育長
子どもの教育環境を整えることを最優先に考える。
Q
中学校の統廃合は、何を優先して考えるのか。
A
学校配置検討委員会を設置し検討中である。本年度中には結論を出したい。

Q
中学校の生徒数は激減し、クラブ活動も十分にできない状況にある。統廃合に向けての取り組みは。
A
教育長
2校の方針を示しているが、それも含めて検討している。
Q
神石中学校からは、距離的な問題もある。寄宿舎の設置も考えてはどうか。
A
教育長
その事も視野に入れて検討する。

Q
中高一貫校の指定年度の目標は。
A
教育長
26年度を目標に取り組んでいる。
Q
中高一貫校のメリッとは。
A
教育長
制度面で言えば、油木高校に進学する時、簡便な選考試験で進学できる。

Q
町内2校に向けて取り組みは。
A
教育長
26年度を目標に取り組んでいる。
Q
中高一貫校のメリッとは。
A
教育長
制度面で言えば、油木高校に進学する時、簡便な選考試験で進学できる。

Q
車輪村のイベントには、毎年3千人以上の参加者があるが、全てボランティアで行われている。宣伝、広告など町が支援しては。
A
町長
医師不足の中でビジョンを示すのは難しい。当面は現状を維持し、縮小も拡大も考えない。寺岡理事長にも、医師の確

Q
町立病院の運営について、将来的なビジョンが示されていない。これからのような病院を目指すのか。
A
町長
車輪村は集客力も多く、高く評価している。観光協会も含め、宣伝など後方支援を行いたい。



車輪村

保についてさらに強く要請したい。

ケーブルテレビ議会中継

徳島県
那賀町議会

より開かれた議会をめざして

議会運営委員会研修

調査研究目的

- ①議会の政策形成・立案能力と行政監視能力向上のため。
- ②CATVを活用した議会中継の在り方を研究するため。

調査研究日

平成23年3月28日～29日

調査研究場所

○徳島県那賀郡 那賀町議会

参加者

○議会運営委員(5人)、正・副議長、議会事務局長

那賀町の概要・議会構成

○那賀町は3町2村が平成17年3月1日合併。面積694平方km、人口1万人、高齢化率39.9%。

○那賀町議会議員定数116人

議会放送

・CATVは合併前から2局で運営し、平成21年6月定例会から議会中継を開始しています。

成果・改善点・課題

- ①一般質問で図表やパネルなど視覚に訴える工夫が見られませんでした。
- ②休憩が長いとの苦情。
- ③発言の取消しは、生放送では対応できません。
- ④発言内容への責任が重くなりました。
- ⑤各委員会審議の生放送を検討しています。
- ⑥事前に告知放送で周知しているので多くの人が議会中継を視聴しています。

まとめ

○近年、地方議会の在り方が大きな課題となっています。議決機関・チェック機関としてだけでなく、政策決定においての情報公開や住民意見の聴取、政策立案能力が求められ、全国の多くの議会で議会改革の取組がなされています。

本町議会は、本年度から運用開始のCATVの活用で積極的に情報発信するとともに住民意見の聴取に努め、より開かれた議会を目指したいと思います。

「地域医療を支える」使命感と慈愛

町立病院の看護師さんとの

意見交換会

地域医療を見守る特別委員会研修

地域医療を見守る特別委員会(議員全員)は、町立病院の看護師さんとの意見交換を行いました。



看護師さんとの意見交換会(4月26日 町立病院にて)

医療現場の課題や要望など多くの意見が寄せられ、有意義な意見交換会となりました。

「地域のスタッフで地域の患者さんを見たい。」「人材を育てることが必要。」「地域のために役立ちたい。」などと、思いを語る看護師さん。その言葉に地域医療を守り支える使命感と深い愛を感じました。

地域医療を見守る今後の取組に、看護師さんの「声」をいかすべきであると強く感じました。

※次回は議員の「看護体験」を計画。

議 員 発 議

可決！

議員報酬削減案

神石高原町議会議員の月額報酬を議長1万5千円、そのほかの議員1万円を引き下げ、**全会一致**で可決した。

提出者＝松本彰夫 賛成者＝藤田晃巳

全会一致

【提案理由】

神石高原町特別職報酬等審議会の答申を受け、町長・副町長・教育長の報酬が削減された。この答申の「ただし書き意見」を重視し、県内の類似した町の状況も考慮して議員報酬を削減する。(年間削減額は225万円余り)

否決！

議員定数削減案

神石高原町議会議員の定数14人を12人に削減する議員提案は採決の結果、**賛成3、反対10**で否決した。

提出者＝小林 貢
賛成者＝瀬尾征爾

【提案理由】

本町の人口・社会実態などから議員定数14人から2人削減し12人にすべきである。
独自のアンケート調査の結果、「適切な定数は12人」が55.8%の回答であった。人口減少と依然厳しい町財政を考えると議員定数削減は経費削減の一助となる。
(関連記事13ページ)

可決！

分事項指定案

神石高原町長から依頼のあった「議会の委任による専決処分」の指定について**全会一致**で可決した。

提出者＝松本彰夫
賛成者＝村上克朗

審議の結果、「軽易な事項」を認定。

①法令等の改廃に伴うもので、速やかに本町条例の改廃などが必要で審議の余地がない事項②円滑な処理が急がれる損害賠償額50万円以下の和解③自動車事故損害賠償保険金額50万円以下④議会の議決を受けた工事又は製造の請負金額の10分の1を越えない変更契約(ただし、500万円を超えるものは除く)⑤一部事務組合等の事務執行を円滑に行うため。

全会一致

国に

意見書を

提出しました

義務教育費国庫負担制度の拡充を求める意見書

提出者＝松本 彰夫
賛成者＝木野山孝志

全会一致

一人一人の子供に丁寧な対応を行うため、一人一人の学級規模を引き下げることが必要がある。教育予算の国庫負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられた事により、自治体の財政を大きく圧迫する結果となっている。義務教育費の財政負担も国の責務で行うべきだ。

公立学校施設における防災機能の整備推進を求める意見書

提出者＝寄定秀幸
賛成者＝橋本輝久

公立学校施設は非常災害時、地域住民の防災拠点として中心的役割を担ってきた。地域住民の「安心・安全な避難生活」のため、耐震化とともに防災機能の強化をすべきだ。

全会一致

防災機能の基準を作成し地方公共団体への周知徹底に努め、防災機能整備向上を促すこと。防災機能向上のための財政支援の窓口を一元化すること。

なぜ否決したのか？ 議員定数削減案

神石高原町議会議員の定数14人を12人に削減する議員提案は採決の結果、賛成3・反対10で否決しました。

反対

反対討論 寄定秀幸議員

反対の第一の理由は、やみくもな議員定数削減は、憲法に定められている地方議会の位置づけと役割の理念に反するからです。

第二の理由は、地方自治法と議会制民主主義に照らし、多様な住民の「意志」を行政に反映させ、政策提案を行うにふさわしい定数が不可欠です。現在の定数14人は地方自治法に基づく法定上限22人を8人下回っており、前回18人から14人に削減したばかりです。

第三の理由は、定数削減の理由に整合性と正当性がないからです。議員定数については、特定の議員が行ったアンケート調査で判断すべき事案ではありません。また、定数や報酬の削減だけが議会改革ではなく、議会改革を推進する中で適正な議員定数や報酬を論議すべきであります。「議会基本条例」の制定を視野に議会の見える化のため「議会報告会」の開催など、より開かれた議会を目指し、議員の資質向上に努めるべきであります。

第四の理由は、議会運営委員会の決定事項や再三にわたる議長の「議員の身分に関することは議員間でしっかり論議すべき」との進言を無視し、議員個人のエゴを強引に通す手法は許し難いからであります。定数削減を論議する以前の問題であり、議会改革に逆行する暴走行為ともいえる本提案は到底賛成できるものではありません。

賛成

賛成討論 藤田晃己議員

現在議員に求められているのは政策立案能力と行政監視能力であります。「果たして何人の議員が真摯に議員活動を行っているのか」との町民の声を耳にします。

また、日本の財政状況は厳しく、本町財政規模の縮減や人口減などを考慮すると議員定数12人にすべきです。「議員は少数精鋭で頑張れ、若い人が出やすくするため定数を減し、報酬を増やせ。」との住民の声は無視できません。

職員数適正化や経常経費削減に大きな影響があるので議員定数削減案に賛成します。

猛特訓！ 消防ポンプ車操法

広島県消防ポンプ車操法競技大会をめざして

がんばれ！ 神石高原町消防団 油木方面隊

本年9月10日(土)に開催されます広島県ポンプ車操法競技大会に、神石高原町消防団を代表し、出場いたします。2月28日に結団式を行い、訓練に日々精励しております。

感と感動を与えるような操法の披露ができ、好成绩が収められるようがんばります。応援よろしく願いたします。

油木方面隊長 小田信義

出場にあたり、消防後援会並びに関係各位には、温かいご支援を頂き、深く感謝申し上げます。大会まで2ヶ月あまりとなりました。現在週3回仙養グラウンド(旧仙養中学校)で夜間訓練を行っています。だんだんと緊張感も増し、神石高原町消防団の代表として責任の重さを感じております。団員一同や、また町民の皆様方に達成



夜間訓練状況

追跡 ありやあどうなった？

今はどうなっているか？追跡しました

小学校耐震診断・改修



耐震補強工事が完了した豊松小学校

ⅠS値0.24で耐震補強が急務となっていた豊松小学校は、平成22年度耐震補強工事が完了し、国の基準を満たした施設となりました。

また、同年実施した耐震調査では、神石小学校・中学校の校舎の3次診断を実施し、豊松小学校体育館・神石中学校体育館の2次診断を実施し

ました。

その結果、神石小学校校舎以外の学校施設は補強工事が実施可能という結果になりましたが、神石小学校校舎は補強工事を実施しても、学校施設として耐震の機能を発揮しないとの結果となりました。

ⅠS値とは
耐震改修促進法
で定められた構造
耐震指標であり、
耐震診断の判断基
準となる値です。
一般に0.3未満
が倒壊の危険が高
く、0.6以上あ
れば現在の耐震基
準を満たしており
ます。

三和小学校グラウンドの 芝生化事業



全面芝生化グラウンドにした三和小学校

新・三和小学校のグラウンドを全面芝生化しました。これは子供たちがのびのびと校庭で動き回る環境を整備する目的で、広島県から2300万円の補助を受け整備しました。

校庭2700㎡の全面に「ひめの芝」を植えております。また芝生を管理するため雨水を利用した散水施設を導入し、人にも環境にもやさしい学校になっています。

子供たちの楽しそうな歓声が聞こえてきます。一度訪問してみてください。

クイズの解答とともに寄せられた

“まちの声”

第9回

議会クイズ 正解・当選者

第9回クイズ当選者

油木地区 岡 賢也さん
油木地区 加村育子さん
油木地区 原 勝子さん

神石地区 福名澄江さん
三和地区 川崎博文さん
(順不同)

①やすらぎ ②99 ③海外難民
④コンビニ ⑤おこし
ご応募ありがとうございました。
正解者多数により抽選の結果、次の方々が当選され、10000円分のやまなみ商品券をお贈りしました。

今回の東日本大震災で多くの方が被災されています。神石高原町も被災された皆

うちの子供達は豊松・神石高原町が大好きです。これ

住みやすい高原町であるよう、若い人が田舎だから良いんだと言うような町にするにはどのような方法が一番よいか審議してください。
(87歳・女性)

三月定例会に13名の議員全員が総括質問を行うなど前向きな姿勢に感動しました。
(81歳・男性)

福祉が充実した神石高原町。高齢者にはありがたい事です。感謝しております。
(87歳・女性)

東日本震災で日本の国民の心がひとつになりました。まだまだ日本も捨てたものではないと思います。この調子で神石高原町も心ひとつで住みやすい町にしましょう。
(55歳・女性)

町立病院へ外科ドクターを早急に配置してほしい。町民みんなが思っていることです。
(61歳・男性)

議員の頑張っている姿をテレビで見ました。よろしくお祈りいたします。
(72歳・女性)

からもみんなが安心して暮らせる町をよろしくお祈りします。
(33歳・女性)

委員会構成の変更

産業建設常任委員会
は変更ありません。

地域医療を見守る 特別委員会

委員長 松本 彰夫
副委員長 村上 克朗
委員は委員長・副委員長を除く全議員

議会広報広聴調査 特別委員会

委員長 寄定 秀幸
副委員長 小川 清治
委員 木野山孝志
委員 橋本 輝久
委員 横尾 正文

総務文教常任 委員会

委員長 村上 克朗
副委員長 片山元八郎
委員 木野山孝志
委員 佐伯 卓師
委員 丸山 達夫

議会運営委員会

委員長 片山元八郎
副委員長 寄定 秀幸
委員 村上 克朗
委員 木野山孝志
委員 佐伯 卓師

元気なグループ紹介

リサイタル・クレイジーブラザーズ



神石の「若大将」健在!

神石クレイジーブラザーズは昭和39年に当時の若者15〜16名によって結成、グループサウンズの全盛期の波に乗って活動も盛んになって行きました。

ジャンルは演歌を中心に演奏活動をし、年間10回〜12回程度慰問と各種大会に参加していました。

しかし時代の変化によって昭和57年に活動を休止していましたが、平成20年地元へ残っている平均年齢65歳のメンバー8名によって再結成をしました。

グループ名も「リサイタル・クレイジーブラザーズ」とし、若さを保つために活動しています。

現在神石高原町文化協会へ加盟し、神石の「もみじの里」や上下の「ほのぼの苑」などへの慰問活動や福永芸能大会への参加を毎年しています。

楽器は現在、ドラム、ギター、ベース、サクソフーン、トランペット、トロンボーンです。

ジャンルは、懐メロや軍歌を中心に歌詞を映し出し、観客の皆さんと一緒に歌っています。

今後も私たちも含めて会場全体で楽しめるような活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

第10回 議会クイズ

《クイズ》

空欄に適切な言葉を入れてください。

①官・○ 連携で源流の里対策を

②議員発議 可決!議員報酬削減案

〇〇!議員定数削減案

③一般質問 油木高校〇〇〇養殖に支援を

④一般質問 ローソン出店の経緯と進捗状況は 8月〇〇日オープン予定

⑤元気なグループ紹介 〇〇〇〇〇・クレイジーブラザーズ

《ヒント》

議会広報を良く読めば解ります。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。

議会への要望・ご意見なども書いてください。

「まちの声」で、出来るだけ紹介いたします。

正解者多数の場合は抽選で5名の方に1000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。

応募はお1人・1通に限定させていただきます。

《あて先》

〒720-11522 神石高原町小島二〇二五

神石高原町議会事務局

「第10回議会クイズ係宛」

《締め切り》

8月10日(水) 消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および「まちの声」などの目的以外には利用いたしません。

編集後記

東日本震災において、多くの犠牲になられた方避難を余儀なくされ、今尚避難生活されておられる方々に、謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。

一刻も早い復旧にむけ、以前より活気ある町として復興を願うばかりです。

今回、議員定数削減案は否決しました。議員数や報酬の削減だけが議会改革ではありません。若い世代がこの議場に出やすい環境づくり、各地域から、また多様な職域からの意見を集約し政策に反映できる議会

でなければなりません。そのためにも「議会改革推進」に議員全員が思いをひとつにして邁進しなければなりません。議会に対し、皆様方のご意見をお寄せ頂きたいと思ひます。

(橋)

議会広報広聴調査特別委員会

委員長 寄 定 秀 幸
副委員長 小 川 清 治

木野山 孝 志
橋 本 輝 久

横 尾 正 文

住所 / 広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-89-3340
FAX 0847-85-4201